

■西行 歌人。遁世者の象徴。北門の武士となるも突然遁世、漂泊しながら名声欲も保ち、後世に多大な影響。

さいぎょう
・ ・ ・ ・ ・ 1118＝ 生。鎮守府將軍藤原秀郷(俵藤太)の9代目の子孫で、曾祖父の代から佐藤氏と称した。父は左衛門尉康清、母は監物源清経の娘。佐藤氏は代々衛府に仕える武門の家で、故実にも明るく、紀伊国の田仲莊の預所として豊かであった。

・ ・ ・ ・ ・ 1127＝ 9歳：

鳥羽院政始・1129＝11歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1131＝13歳：葉室顕広(のちの藤原俊成)と知り合う。

忠盛宋船横領1133＝15歳：この頃、内舎人を志願し、

・ ・ ・ ・ ・ 1135＝17歳：巨額の任料を納めて左兵衛尉に任官した。

・ ・ ・ ・ ・ 1136＝18歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1137＝19歳：徳大寺実能の隨身となり、鳥羽院の北面の武士となる。鳥羽離宮で菊の歌を詠むなどして、和歌にすぐれ故実に通じた人物として知られていたが、突然、遁世し、

・ ・ ・ ・ ・ 1139＝21歳：西行出家。・ ・ 1140＝22歳：*出家して人々を驚かせた。

崇徳天皇讓位1141＝23歳：出家後は洛外に草庵を結んで修行につとめ、一品経を勧進して藤原頼長を訪ねたりしたが、

・ ・ ・ ・ ・ 1142＝24歳：「法華経二十八品」の歌を詠む。この年、弟の仲清が内舎人になる。

・ ・ ・ ・ ・ 1144＝26歳：この頃、能因法師の足跡を慕って、陸奥・出羽に旅して歌枕を訪ね、

・ ・ ・ ・ ・ 1145＝27歳：また、奥州藤原氏も訪ねている。

・ ・ ・ ・ ・ 1149＝31歳：*高野山に草庵を結び、以後本拠地とし、しばしば吉野山にも入る。その間も和歌に精進し、

頼長内覧・ ・ 1151＝33歳：「詞花和歌集」に1首入集。

為朝鎮西乱行1154＝36歳：

頼長内覧停止1155＝37歳：「後葉和歌集」に1首入集。多くの歌人と交わったが、この年、近衛天皇が死去、

保元の乱・ ・ 1156＝38歳：続いて鳥羽法皇が死去して、保元の乱が起り、崇徳院が配流され、

藤原基衡没・1157＝39歳：前年に左大臣になったばかりの徳大寺実能も死去。

平治の乱・ ・ 1159＝41歳：平治の乱が起こり、

・ ・ ・ ・ ・ 1160＝42歳：美福門院が死去。

・ ・ ・ ・ ・ 1161＝43歳：徳大寺公能の死去、

・ ・ ・ ・ ・ 1162＝44歳：この年、弟佐藤仲清が隣の莊園荒川莊に乱入、

・ ・ ・ ・ ・ 1163＝45歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1164＝46歳：崇徳院の死去などが続き、しだいに公家社会から遠ざかる。

・ ・ ・ ・ ・ 1165＝47歳：二条天皇の墓に詣でる。

清盛太政大臣1167＝49歳：

厳島神社・ ・ 1168＝50歳：四国へ修行の旅に出、讃岐国の崇徳院の白峰陵にもうでて院の怨霊を鎮め、弘法大師の旧跡を訪ねる。

後白河出家・1169＝51歳：善通寺に草庵を結ぶ。

平徳子入内・1171＝53歳：住吉大社に行く。

・ ・ ・ ・ ・ 1172＝54歳：

その後、高野山の蓮花乗院を造営するための勧進を行い、

鹿ヶ谷事件・1177＝59歳：実現し、同院の長日談義をはじめるなど、高野山の興隆のために活動。

・ ・ ・ ・ ・ 1178＝60歳：寂念が死去した年、その弟寂然と贈答歌。

源氏一斉蜂起1180＝62歳：伊勢国に赴き、二見浦に草庵を結んで、和歌を通じて祀官の荒木田氏などと交わった。

平清盛没・ ・ 1181＝63歳：

平氏滅亡・ ・ 1185＝67歳：

九条兼実摂政1186＝68歳：*来訪した重源の依頼で、伊勢を出て東大寺再建の勧進のために再び陸奥に赴いたが、その途中鎌倉で源頼朝に会い、弓馬のことを談じ和歌についても語った。陸奥の旅から帰った西行は、京都の嵯峨に住み、

・ ・ ・ ・ ・ 1188＝70歳：「千載和歌集」には18首が選ばれて、歌人として重んぜられるようになったが、

奥州藤原滅亡1189＝71歳：「贈定家卿文」を書く。藤原定家が西行の自歌合「宮河歌合」に加判。河内国の弘川寺に居を定め、

源頼朝上洛・1190＝72歳：弘川寺で、没した。「山家集」「西行上人集」「山家心中集」「聞書集」「残集」。